

## ■平成27年度 第2回 国分寺市地域公共交通会議 議事録

### 1 開催概要

・開催日時：平成27年10月23日（金）午後2時00分から午後3時00分

・開催場所：国分寺市役所第1庁舎第三委員会室

・委員等：

（出席委員）青木亮会長，中村秀雄副会長，市民公募：荒井清介委員，  
市民公募：宮寺忠康委員，市民公募：上松速夫委員，  
市民公募：片桐暁子委員，西武バス(株)：原口一郎委員，  
立川バス(株)：佐藤祐浩委員，京王電鉄バス(株)：佐々木氏，  
（一社）東京バス協会：今野浩児委員，東京運輸支局：小川氏，  
小金井警察署：白石和也委員，北多摩北部建設事務所：久保田氏

（欠席委員）三和交通多摩(株)：山口真委員，立川バス労組：鶴沢健一委員

（傍聴者）2名

（事務局）藤原事業計画課長，中村事業計画担当課長（説明者），  
佐藤事業計画担当係長，小泉事業計画担当主任  
佐瀬事業計画担当主事

（事業者）武州交通興業株式会社 小林室長，太田越室長代理

・会議次第

#### 1 議事

- (1) 北町ルート of 運行計画の変更について
- (2) 万葉ルート，けやきルートについて
- (3) ICカード乗車券の利用について  
(日吉町，本多，東元町，西町ルート)

#### 2 その他

・資料：

資料1 北町ルート運行計画の変更について

資料2 北町ルート変更図

資料3 北町ルート運行ダイヤ

資料4 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議  
が調っていることの証明書案（北町ルート）

資料5 万葉ルート，けやきルート検討図

資料6 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議  
が調っていることの証明書案（ICカード利用）

## 2. 議事

・議事に先立って、配布資料の確認、委員の出席状況の確認及び前回会議の議事録の確認を行った。

[会長]

議事に入る前に出席状況について事務局より報告願いたい。

[事務局]

委員15名中会議に出席は13名、欠席者2名である。

[会長]

事務局より報告があったとおり委員の過半数の出席を得ているので、国分寺市地域公共交通会議設置要綱第6条第3項に基づき、本日の会議は有効に成立しているものと認める。

事前に前回会議の議事録が配布されており、修正等があれば事務局に伝えることになっていたが、修正等はあったか。

[事務局]

修正等の連絡は無かった。

[会長]

それでは、第1回の議事録は修正無しとして、本日参考配布した議事録で確定とする。

### (1) 北町ルートの変更について

#### ①事務局からの説明

- ・資料1, 2及び3に基づき、北町ルートの変更について説明した。
- ・資料4に基づき、運行計画の変更の手続きについて説明し、最終的な交通安全対策等の確認があるものの、本日の会議の内容で特段問題が無いようであれば、会長の印をいただき、国土交通省への申請の添付書類とすることを説明した。

#### ②質疑応答

事務局の説明の後、質疑応答が行われた。概要は以下のとおり。

[会長]

事務局から説明があったが、意見、質問はあるか。

〔委員（運送事業者）〕

変更後のルートについて、ワンボックスカーで1時間に1本ではあるが、交通安全の観点から言うと、立川バスと対面交通になっており、北町五丁目交差点のポストコーンが設置されている箇所等、走行環境が悪くなると思われる。立川バスと同方向に運行することで解消されるのではないかな。

〔事務局〕

過去に、立川バスの北町公園、並木町二丁目のバス停を設置するに当たって、市として待避所を確保した経緯がある。現在立川バスは逆方向を走行しているため、待避所を使用しておらず、待避所を有効活用するためにも立川バスとは逆方向の回り方となっている。ただ、安全上の問題として考えなければならないことは確かなので、運行事業者と調整し、影響が少なくなるよう考えていく。

〔委員（運送事業者）〕

往路の北町地域センターのバス停がなくなることになり、地域センター利用者の利便性が低下すると思われる。ぶんバス事業者との調整が必要だが、弊社（立川バス）のバス停を代わりに設置するなどして、相互利用ができるようにするのもいいのではないかな。

〔事務局〕

地域バスと民間バスとの連携ということで、利用者の方の利便性も向上する大変貴重で面白いご提案なので、前向きに検討していきたい。

〔委員（都市建設部長）〕

新鮮なご提案であると感じる。市として前向きに検討していく。

〔会長〕

今のご提案については、別途市と立川バスで協議をしてもらえればと思う。他に意見、質問はあるか。

〔委員（運送事業者）〕

北町公園、北町二丁目、並木町二丁目の三つのバス停について、立川バスと路線が重複しているが、実際に運行したら利用率が悪かったという場合、バス停の廃止等の考えはあるのか。

〔事務局〕

一般的な考え方として、個別のバス停の利用率が低いからといったことではなく、他ルートを含めたバス事業全体を見て考えなければならないと考えている。

当然、検討材料として利用率については把握しておきたい。

[委員（運送事業者）]

恋ヶ窪交差点西のバス停について、すぐ近くに西武バスの武蔵野美術大学行きのバス停があり、路線の重複がある。民間バス事業についても理解してほしい。できればバス停の再考をお願いしたい。

[事務局]

北町ルートには、北町から市役所までの間にバス停が無く、なんとか設置したいと検討した結果、物理的な条件として、恋ヶ窪交差点西のバス停が設置できそうだということで今回設置に向けて動いているところである。設置個所について、府中街道を避ける等一定の配慮をさせていただいたので、ご理解いただきたい。

[委員（運送事業者）]

市役所前通りの恋ヶ窪交差点付近はよく渋滞が起きる箇所であるが、バス停の設置位置は交差点からどれくらい離れているのか。

[事務局]

往路と復路で違いはあるが、近いところで約60m離れている。

[委員（市民公募）]

府中街道上にバス停があれば、西武バスに乗り換えて国分寺駅に出ることができるので、以前から設置の検討をお願いしているが、設置はできないのか。

[事務局]

府中街道沿いで、窪東公園にも行きたいという声はいただいております。検討している最中である。府中街道上へのバス停設置は難しいので、窪東公園側に入ってバス停を設置する方向で考えているが、交差点処理等の課題も多く、現段階でお示しできる状況にない。

[委員（運送事業者）]

北町公園のバス停について、現在立川バスのバス停名は東京創価小学校に変更となっているが、利用者が混乱するのではないか。

[事務局]

立川バスのルート変更に伴って、北町公園のバス停名は現在使われていない。今回のバス停は、元々北町公園のバス停の位置に設置するので、この名前になっている。混乱の無いよう、周知は徹底したい。

〔委員（市民公募）〕

今回の変更，特に並木公民館の立ち寄り，北町の市民は非常に喜ぶと思う。料金について，例えば北町二丁目から市役所に行く場合，北町パンダ公園で折り返すことになるが，100円でいいのか。

〔事務局〕

1乗車につき100円なので，100円で行くことができる。

〔委員（関東運輸局）〕

先ほどバス停の廃止についての話があったが，バス停を設置するよりも廃止をするときの方が，地域住民の足が無くなるということで非常に難しいというところがある。採算が合わないので簡単に廃止するといったことが無いよう，利用状況等しっかり把握をしていってほしい。

〔事務局〕

ご指摘を踏まえ，市として対応していく。

〔会長〕

今後説明会等周知の機会があると思うので，そこで利用の促進を働き掛けていってほしい。

〔事務局〕

ルート変更の手続きが整い次第，市報やホームページの他，北町地域等への戸別配布も考えているので，その際に働き掛けをしていく。

〔会長〕

他に意見がないので協議が調ったとし，議事の1については終了とする。

## （2）万葉ルート，けやきルートについて

### ①事務局からの説明

・資料5に基づき，万葉ルート，けやきルートについて，検討ルート案と，検討によって見えてきた課題等を説明した。

### ②質疑応答

事務局の説明の後，質疑応答が行われた。概要は以下のとおり。

〔会長〕

事務局から説明があったが，意見，質問はあるか。

〔委員（運送事業者）〕

万葉ルートの方案を見ると、既存の京王バスの路線とかなり重複しており、交通空白地域の解消という目的がぼやけてしまっているように感じる。

〔事務局〕

もとまち地域センターの周囲が交通空白地域となっている。この地域に乗り入れるためには、府中街道か国分寺街道から来ることになるが、国分寺街道側は一部道路が狭い箇所があり、実質府中街道からしか入れない状態であり、交通空白地域の解消のため、府中街道から入るルートで検討しており、この結果、京王バスと重複する形となっているので、ご理解願いたい。

〔会長〕

万葉ルートもけやきルートも道が狭く、通常の乗用車で走っていても通行が大変な地域なので、ルート設定も非常に難しい中で行っていると思う。

〔委員（市民公募）〕

これらの地域は道が狭いので、なんとかワンボックスカーで運行するといった考えもあるのだろうが。少し歩けば幹線道路に出ることができ、そこには民間のバスも走っている。税金を使って運行させるのであるし、無理に地域バスを走らせることもないのではないかと。

いわゆる白タクを解禁するといった動きもあるので、行政がバスを運行するのではなく、地域での運送等も視野に検討するのでもいいのではないかと。

〔事務局〕

委員のご指摘についても考えていく必要があると思うが、万葉ルートの地域は国分寺崖線の下に位置しており、地域の方々から坂を上がるのが大変だといった声をいただいております。陳情が採択されている経緯もあるので、まずは地域バスとして検討を進めるが、委員のご意見については別途考えていきたい。

〔委員（運送事業者）〕

先ほど万葉ルートと京王バスとの重複が触れられていたが、けやきルートの方も直近に西武バスの路線がある。事務局の考えとして、交通空白地域への乗り入れのために既存バスルートの直近を通らざるを得ないということは理解したので、交通空白地域でない途中の部分のバス停等、一定の配慮をお願いしたい。

〔事務局〕

場所によっては、ぶんバスのバス停が近くにできることで、逆に民間バス路線として乗換のメリットになることもあるかもしれないので、そういったところも

含めて調整させていただく。

〔会長〕

万葉ルート、けやきルートについては、まだまだ課題が多いようなので、今後市の方で検討をし、なにか動きがあれば報告してもらいたい。他に意見がないので、議事の2についても終了とする。

### （3）ICカード乗車券利用について

#### ①事務局からの説明

・資料6に基づき、日吉町、本多、東元町、西町ルートのICカード乗車券利用について説明した。

#### ②質疑応答

事務局の説明の後、質疑応答が行われた。概要は以下のとおり。

〔会長〕

事務局から説明があったが、意見、質問はあるか。

〔委員（市民公募）〕

北町ルートもいずれは、ICカード乗車券が利用できるようになるのか。

〔事務局〕

北町ルートについても導入したいとは思っているが、なかなかすぐに導入できる状況にない。

〔委員（バス協会）〕

ICカード乗車券をすでに利用している事業者の場合、新たにルートを設定する手続きは長くはかからないが、ICカード乗車券を新規に利用し始める事業者の場合、導入の手続きには3年程度はかかると言われている。

〔事務局〕

今回ICカード乗車券を利用できるようにするルートについては、全ての事業者がすでにICカード乗車券を利用しているので問題はないと思う。北町ルートの事業者については、ICカード乗車券を新規に利用し始める事業者になるので、ご意見を踏まえて検討していく。

〔委員（関東運輸局）〕

今あるぶんバスの車両にICカードの読み取り機を設置するのだと思うが、設置

費用については市の負担になるのか。

〔事務局〕

運行経費として計上するので、市の負担となる。

〔会長〕

他に意見がないので協議が調ったとし、議事の3についても終了とする。

#### (4) その他

〔会長〕

事務局から何かあるか。

〔事務局〕

特にない。

〔会長〕

他にないようなので、第2回国分寺市地域公共交通会議を終了する。